

The image shows a large, blue, three-dimensional logo of the company 'Yamazawa' mounted on the side of a building. The logo is stylized with a green triangle above the 'Y'. The background is a clear blue sky with some light clouds.

株式会社 ヤマザワ

2022年2月期 中間決算説明

代表取締役社長
古山 利昭

証券コード：9993

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

1. 株式会社ヤマザワ グループ概要

- (1) グループ紹介 .. 3

2. 2022年2月期 上期決算概況

- (1) 2022年2月期 上期決算ハイライト .. 5～7
- (2) 単体 業績分析 .. 8～11
- (3) 出店・改装 .. 12

3. 通期の見通し

- (1) 通期業績見通し .. 14

4. 2022年2月期 下期考え方

- (1) 経営環境、売上・利益対策 .. 16～20
- (2) ギフト商品強化、とくし丸 .. 21～22
- (3) 設備投資、生産性向上 .. 23～24
- (4) SDGs、中期計画、株主還元 .. 25～28

1. 株式会社ヤマザワ グループ概要



【スーパーマーケット事業】71店舗

エリア拡大とシナジー追求



◆山形県
…42店舗
◆宮城県
…19店舗

◆秋田県
…10店舗

株式会社ヤマザワ

よねや商事(株)

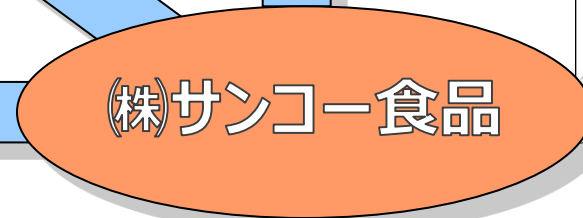


◆山形県
…46店舗
◆宮城県
…25店舗

(株)ヤマザワ薬品

【ドラッグ事業】71店舗

ドラッグストア・調剤薬局



(株)サンコー食品

【その他事業】食品製造

日配品・惣菜品の製造・供給

※非連結子会社

(株)ヤマザワ保険サービス

※店舗数…2021年8月末時点での状況

2. 2022年2月期 上期決算概況

【連結経営成績】

(単位：百万円，%)

	実 績	売上比	前期比	前期差
営 業 収 益	55,227	—	95.7	△2,456
経 常 利 益	602	1.1	40.5	△886
当期純利益	367	0.7	43.9	△470

【連結財政状態】

(単位：百万円，%)

	実 績	構成比	前期比	前期差
総 資 産	51,540	—	101.0	500
純 資 産	28,953	56.2	100.3	87

【連結キャッシュフローの状況】

(単位：百万円，%)

	実 績	前期比	前期差
営業活動によるCF	1,672	53.2	△1,473
投資活動によるCF	△1,485	—	219
財務活動によるCF	△6	—	1,461

1. 連結減収減益

- (1) コロナウィルスの影響剥落
- (2) 店舗閉店先行による収益減
- (3) 経常利益率 1.1%(△1.5)

2. 財政状態

- (1) ROE（自己資本当期利益率）
1.3%(△1.6)
- (2) ROA（総資産経常利益率）
1.2%(△1.7)
- (3) 自己資本比率
56.2%(△0.4)

3. キャッシュフロー関連

- (1) 現金及び現金同等物期末残高
7,461百万(+746)
- (2) 設備投資額
2,164百万(△533)
- (3) 減価償却費
1,310百万(+59)

【各社経営成績】

(単位：百万円，%)

連 結	実 績	売上比	前期比	前期差
営 業 収 益	55,227	—	95.7	△2,456
ヤマザワ	44,022	—	96.0	△1,856
よねや商事	5,039	—	97.5	△130
ヤマザワ薬品	6,642	—	93.3	△479
経 常 利 益	602	1.1	40.5	△886
ヤマザワ	537	1.2	40.6	△787
よねや商事	△44	—	—	30
ヤマザワ薬品	25	0.4	22.9	△85
当期純利益	367	0.7	43.9	△470
ヤマザワ	340	0.8	48.7	△357
よねや商事	△47	—	—	2
ヤマザワ薬品	19	0.3	22.2	△68

1. よねや商事

(1) 減収も、赤字幅は縮小

(2) 10店舗(±0)

(3) 概況

① 経費圧縮も荒利確保不十分

2. ヤマザワ薬品

(1) 減収減益

(2) 71店舗(±0)

① 前期下期からの状況：
新店1/閉店1

(3) 上期設備投資状況

① 増設1 (調剤宮城)

② 改装1 (OTC山形)

(4) 売上状況

① OTC 89.0%

② 調剤 100.7%

③ 既存店 94.3%

(5) 概況

① OTC：収益大幅減少

② 調剤：収益維持も利益低下

【単体経営成績】

(単位：百万円，%)

科 目	上 期 実 績
売 上 高 前期比 前期差	41,954 95.8 △1,851
経 常 利 益 前期比 前期差	537 40.6 △787
当期純利益 前期比 前期差	340 48.7 △357

ヤマザワ

(1) 減収減益

(2) 61店舗(±0)

① 前期下期からの状況：建替2/閉店2

(3) 上期設備投資状況

① 建替1（宮城）改装2（山形2）

② 改装・修繕・機器更新関連注力

(4) 既存店状況

① 売上：97.6% 客数：97.9%

② 客数減、客単価微減（買上点数減）

(5) 損益状況

① 売上総利益高 : △727百万

② 販売管理費 : +62百万

・ 減価償却費 : 1,105百万(+96)

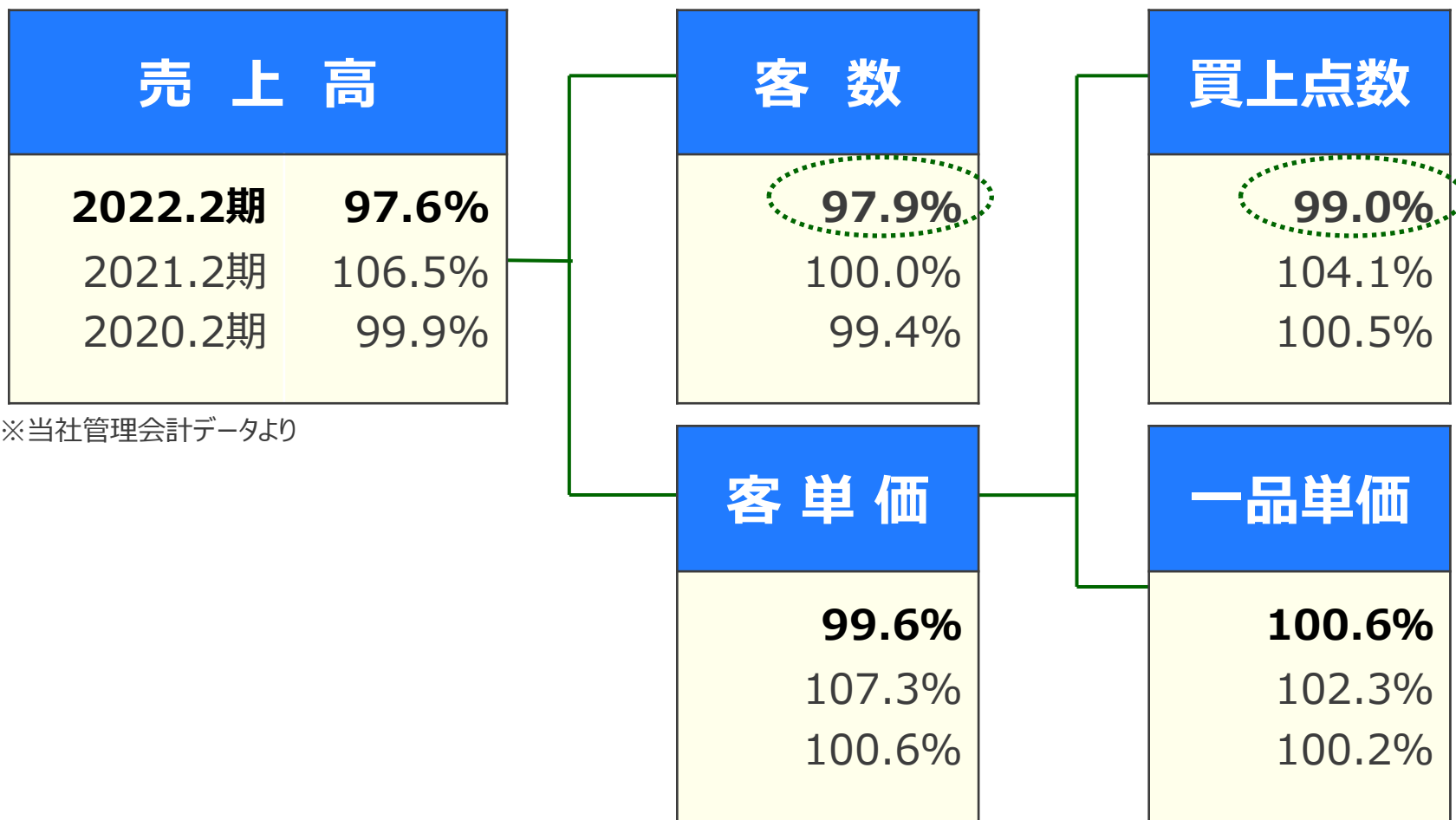
※設備投資額 : 2,013百万(+35)

③ 特別損失 : 25百万

・ 投資有価証券評価損：19百万

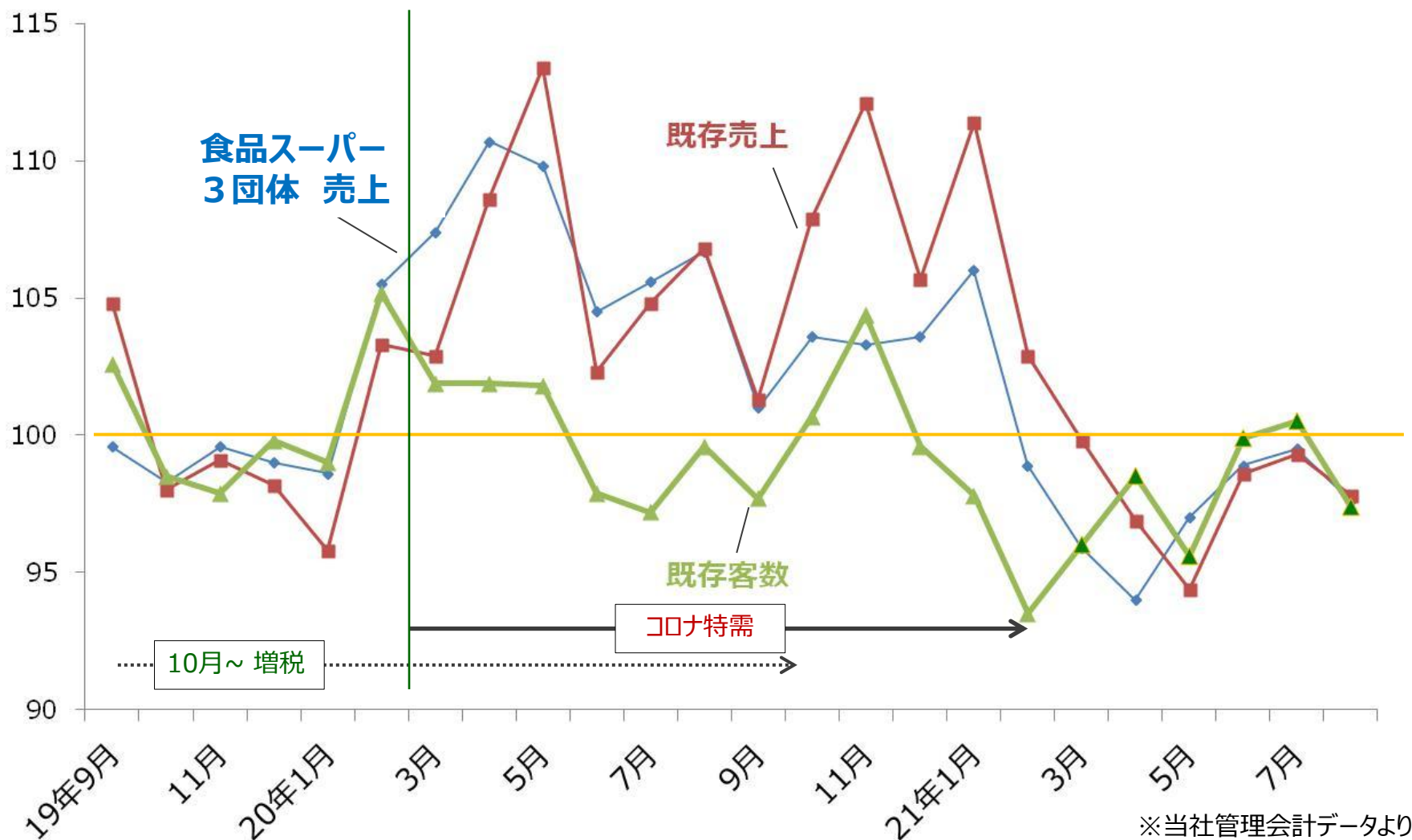
◆ 買上点数低下による客単価微減と、客数低下

【半期累計実績】



※当社管理会計データより

◆ 客数の減少傾向。上期は7月を除き前期割れ



※当社管理会計データより

【単体】商品別 主要指標

【生鮮・グロサリー主要指標 実績】

(単位：百万円，％)

部 門		上 期
生鮮食品	売上前期比 荒利率前期差	97.3 △0.4
グロサリー	売上前期比 荒利率前期差	94.2 △0.3
全部門	売上前期比 荒利率前期差	95.8 △0.3

※1) 記載の「荒利率」は、仕入れ割戻を含まない数値。

※2) 生鮮食品は、青果＋鮮魚＋精肉＋惣菜 で算出。

1. 概況

(1) 8月の状況…コロナ再拡大によるイベント
需要減少と、帰省が無いことによるお盆用
品の販売不振顕著

2. 青果、精肉、鮮魚

(1) 青果…さくらんぼ霜害（6月）ギフト打撃
(2) 相場高⇒前期並みの利益確保厳しい

3. 惣菜

(1) 上期通して好調
(2) 積極的な新商品導入・販売強化奏功

4. グロサリー

(1) 特需反動(日用品・加工食品)⇒特に1Q
の売上減少顕著
(2) 6・7月…気温上昇⇒夏物商品販売好調
(飲料・麺・アイスなど)
(3) 日替商品の価格・販売方法見直し実施、
荒利高の確保に注力

【単体】販売管理費の状況

【販売管理費 実績】

(単位：百万円，%)

科 目		上 期
販 売 費	前期比 前期差	96.6 △46
人 件 費	前期比 前期差	100.2 +10
設 備 費	前期比 前期差	101.0 +44
管 理 費	前期比 前期差	107.7 +53
販 管 費 計	前期比 前期差	100.5 +61

1. 販売費

(1) 増加要因：新店・改装、ギフト関連

- ① 新店・改装関連…販促備品類
- ② ギフト発送料…産直ギフト好調

(2) 減少要因：ポイント費用

- ① 売上減少の影響

2. 設備費、管理費

(1) 増加要因：修繕費、減価償却費、事務費

- ① 新店、改装、修繕対応
- ② 改装は、冷蔵ケース交換も並行
- ③ 老朽化店舗・設備修繕費用大

(2) 減少要因：電気料

- ① 燃料価格の状況、LED化等複合要因

◆ 新店2（ヤマザワ建替1、調剤1） / 改装2（ヤマザワ）

2021年5月 ヤマザワ中野栄店
(宮城県仙台市)



1. 中野栄店概要

- (1) 小型店モデル店舗としての位置づけ
- (2) 老朽化した旧店舗を閉店、10か月休業し、敷地内に建替
- (3) 売場配置・商品展開大幅刷新
- (4) 旧店比較で売場面積縮小も品揃え維持
- (5) 売上旧店比…1.2倍

2. スーパーマーケット事業 上期状況 <新店1 / 改装2>

- (1) 新店：中野栄店（宮城県仙台市）
- (2) 改装：①寒河江西店（山形県寒河江市） ②相生町店（山形県米沢市）

3. ドラッグストア事業 上期状況

- (1) 増設：調剤多賀城店（宮城県仙台市）

3. 2022年2月期 見通し

【連結業績見通し】

(単位：百万円，%)

科 目	上 期	下 期	通 期
営業収益	55,227	54,773	110,000
前期比	95.7	99.1	97.4
前期差	△2,456	△482	△2,938
営業利益	579	621	1,200
前期比	39.2	63.2	48.8
前期差	△898	△361	△1,259
経常利益	602	648	1,250
前期比	40.4	70.4	51.9
前期差	△887	△273	△1,160
当期純利益	367	133	500
前期比	43.8	329.4	56.9
前期差	△471	+93	△378

1. 営業収益

…コロナ一巡、前期割れ予測、既存店97.5%

2. 営業利益の増減要因

(単位：百万円)

① 2021年2月期通期 2,459

② 売上総利益減少 759

③ 販売管理費増加 (a+b+c+d) 500

a.人件費 180

b.光熱費 220

c.減価償却費 190

d.修繕・備品 他 △90

④ 2022年2月期通期 (①－②－③) 1,200

4. 2022年2月期 下期考え方

1. コロナ特需の反動により、増収は厳しい

- (1) 緊急事態宣言解除と、ワクチン普及の安心感
⇒**人流の変化**（外食・外出）
- (2) **コロナの影響剥落と、需要の分散**（宅配、EC）
- (3) 競合の状況…**異業態は生鮮強化店**展開とスピード出店
⇒**オーバーストア地域の売上低下**

2. 利益確保のチャンス

- (1) 世帯収入減少の中、**スーパーマーケットの存在は不可欠**
- (2) **節約志向と消費二極化**…常備品はより安く、ただし気に入ったもの・志向に合うものには惜しまず支出

3. **厳しい環境で生き残るために重視すべきは、 価値 ≥ 価格 ⇒ 来店動機になる魅力的な店づくり**

売上・利益対策①

◆ 価値訴求による利益確保

1. 今週の一品：週単位の単品量販企画



「売り方」の研究 ⇒ 水平展開 ⇒ 圧倒的な販売数で売上利益獲得

売上・利益対策②

◆ 価値訴求による利益確保

2. 部門横断的MD…共通テーマ選定し販売強化（旬・トレンド）



- 入口にテーマPOPを設置し、売場へ効果的に誘導
- テーマに沿った商品販売を店全体で取り組む



購買意欲をかきたてる仕掛けと売場づくり … 当社の名物企画へ

売上・利益対策③

◆ 価値訴求による利益確保

2. 部門横断的MD…食シーン別商品展開



【即食】フレッシュサラダ



【即食】焼き物



【簡単調理】ミールキット



【即食】レンジアップ商品



【簡単調理】便利野菜

同じニーズの商品を部門横断的に集合展開 ⇒ 買いやすさ追求

売上・利益対策④

◆ 集客・価格戦略…利益確保しつつバランスよく実施

1. 客数対策 … 平日強化のためのポイント販促継続
2. 価格対策 … 単品ディスカウントに偏らない企画設定



【最大訴求…エンド・特設】



【月間通してチラシ価格】

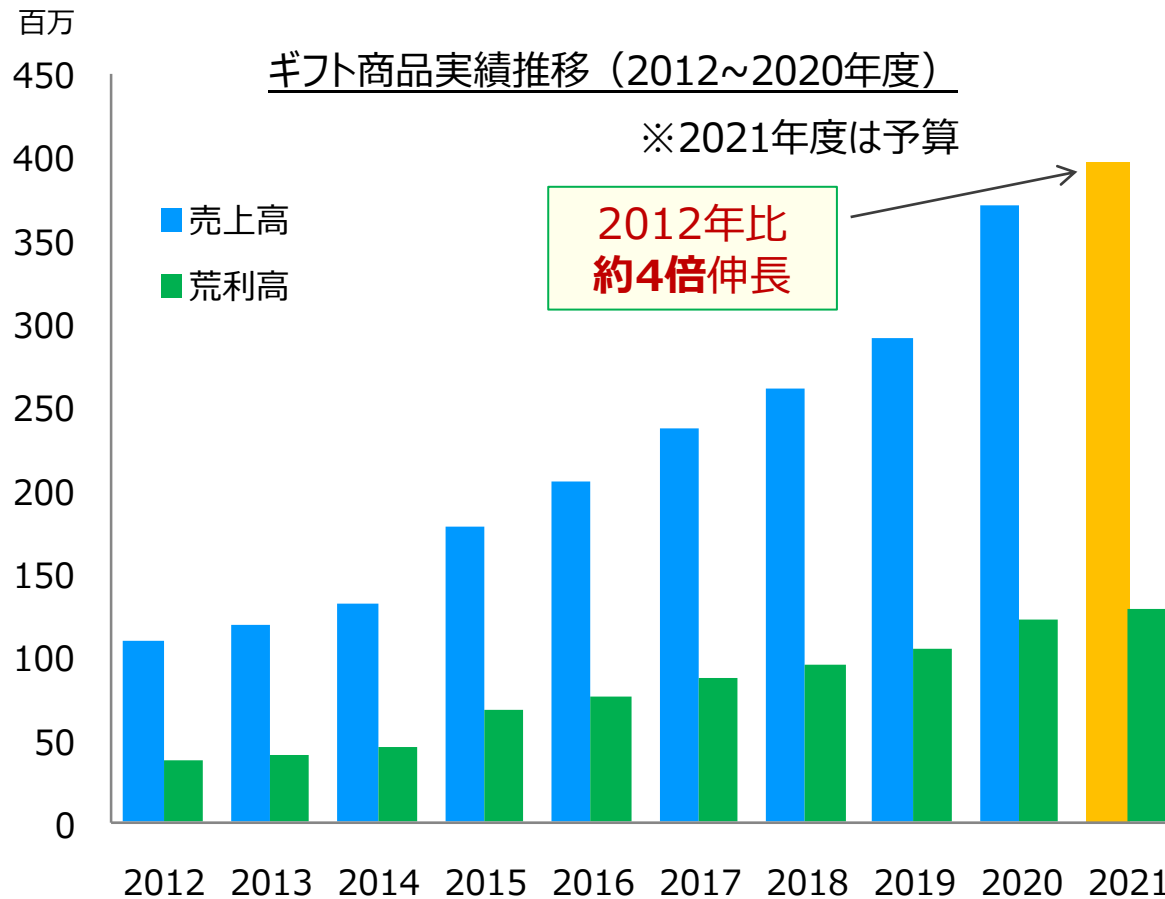


【月間・年間通しお買い得価格】

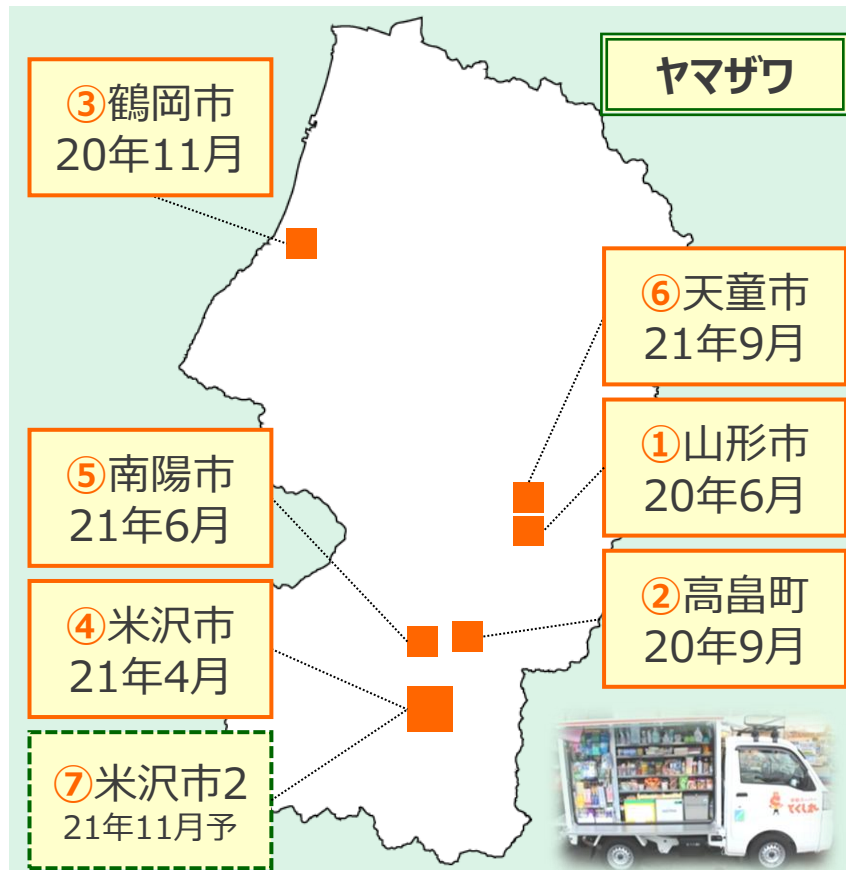


ギフト商品強化

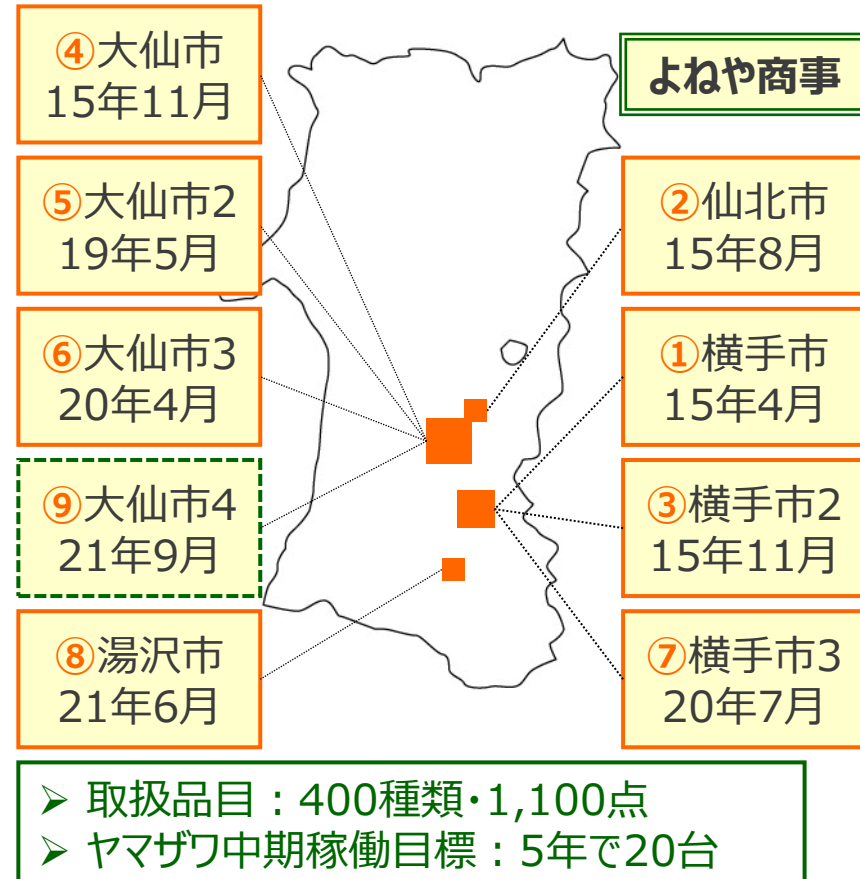
◆ 果物主力、地元商品強化。強みが生き好調なカテゴリー 下期は芋煮、ラフランス・りんごなど中心に販売強化



【山形県内の稼働状況：7台】 ※予定含む



【秋田県内の稼働状況：9台】



「買物困難地域」への支援 新たな需要開拓

設備投資

- ◆ 2022年2月期は、改装による既存店活性化と修繕・更新関連投資、子会社への投資を増加

【設備投資予測】

(単位：百万円)

	2021年2月期※概算		2022年2月期（予定）〔SM71店、ドラッグ71店〕			
	〔SM70店、ドラッグ71店〕		計 画		見 込 み	
新 店	2,800	6店舗 (SM3,ドラ3)	600	SM1店舗 (上期)	550	SM1店舗 (上期)
改 装	550	ヤマザワ 3店舗	1,300	ヤマザワ 6店舗	1,350	ヤマザワ5 よねや1
他	1,529	空調・LED 老朽化設備	1,100	空調・LED 老朽化設備	2,100	空調・LED 老朽化設備
合 計	4,879		3,000		4,000	

◆ ITを活用した効率化と、現場オペレーションの改善

1. 業務の多能化推進

(1) 勤怠管理システム ⇒ 部門間・店舗間応援体制確立の足がかり

2. 自動発注

(1) 発注時間の大幅削減効果、売場安定寄与。導入店舗拡大へ

3. IT機器の活用

- (1) 販促情報のビジュアル化と共有、ネットを使用した販促活動（店舗・SV タブレット導入）
- (2) ワークフローシステム化、RPA化への取り組み開始 ⇒ 事務作業軽減、ペーパーレス化
- (3) WEB会議導入、社内外で活用促進

4. 業務見直し

- (1) 店舗支援 … 営業利益改善（荒利改善・コスト削減を指導）
- (2) 在庫削減 ⇒ バックヤード作業の効率化
- (3) 本部による支援体制強化 ⇒ 水平展開

5. よねやとの一体化

- (1) 商品・MD・教育等統一に向けて準備中

SDGsの取り組み

1. 食品ロス削減



トマト…ジュースや、トマトホールに加工

12 つくる責任
つかう責任



「過剰生産・規格外加工品」の開発・生産

収穫ピーク時に過剰気味となる契約産地品や、天候不順等から発生する規格外品を、ジュース・ゼリー・シロップ漬けなどの加工品として開発・販売

2. 環境保全



資源リサイクルBOXの設置

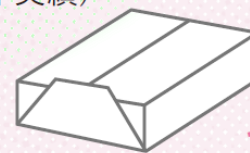
12 つくる責任
つかう責任



資源リサイクル実績(2020年実績)



マイバッグ持参率
87.7%



コピー紙
12,630kg



牛乳パック
107,872kg



ペットボトル
250,600kg



食品トレイ
261,963kg



アルミ缶
156,500kg

SDGsの取り組み

3. 教育振興基金

4 質の高い教育を
みんなに



「ヤマザワ教育振興基金」による地域貢献

- (1) 出店した地域の小中学校への教育機材の助成・スポーツイベント寄贈等
- (2) 実績（2022年8月1日時点）
 - ① 寄贈先実績：621校25団体
 - ② 金額実績：3億1,349万円

4. 災害協定

11 住み続けられる
まちづくりを



自治体との災害協定締結推進

- (1) 台風や地震・水害等の災害が増加する中、出店エリアを中心に自治体との災害協定を積極的に実施
- (2) 災害発生時に、食料品や生活必需品の供給を中心に自治体を支援

【2020年2月期～2022年2月期計数実績・予測】

(単位：百万円，％)

	2020年2月期		2021年2月期		2022年2月期	
	計画	実績	計画	実績	計画	予想
営業収益	110,000	109,709	112,000	112,938	115,000	110,000
経常利益	700	698	1,120	2,409	1,650	1,250
経常利益率	0.6	0.6	1.0	2.1	1.4	1.1
S M 店舗数	74	73	75	70	77	71
(ヤマザワ)	65	64	65	60	67	61
S M 出店数	2	1	4	3	3	1
S M 閉店数	2	2	3	6	2	0

1. 2022年2月期は、前期閉店先行の影響もあり、当初計画を下回る見通し
2. 設備投資・・ **既存店活性化に軸足を置く**
 - (1) 既存店の**活性化改装**及び老朽化**設備更新**に充当
 - (2) 店舗閉店は2021年2月期で一巡
 - (3) 今後は、グループ全体の活性化に注力

◆ 2022年2月期 年間27円予想

引き続き、安定配当の方針。前期同様の配当見込み

1株当り 配当金推移	2018年 2月期 実績	2019年 2月期 実績	2020年 2月期 実績	2021年 2月期 実績	2022年 2月期 予想
中間配当金	16.5	16.5	13.5	13.5	13.5
期末配当金	16.5	13.5	13.5	13.5	13.5
年間配当金	33.0	30.0	27.0	27.0	27.0
配当性向	92.3	—	—	33.5	58.9

ありがとうございました

お問い合わせ

株式会社 ヤマザワ

経営企画室

kanri@yamazawa.co.jp

参 考 資 料

2022年2月期上期 損益管理表

単位：百万円、%

連 結	2021年2月期上期		2022年2月期上期		
	実 績	売 比	実 績	売 比	前 比
営 業 収 益	57,683	-	55,227	-	95.7
売 上 原 価	41,133	71.3	39,579	71.7	96.2
売 上 総 利 益	16,550	28.7	15,647	28.3	94.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	15,072	26.1	15,067	27.3	99.9
営 業 利 益	1,477	2.6	579	1.0	39.2
営 業 外 収 益	45	0.0	46	0.0	101.5
営 業 外 費 用	34	0.0	22	0.0	66.1
経 常 利 益	1,488	2.6	602	1.1	40.5
当 期 純 利 益	837	1.5	367	0.7	43.9

2022年2月期上期 損益管理表

単位：百万円、%

単 体	2021年2月期上期		2022年2月期上期		
	実 績	売 比	実 績	売 比	前 比
売 上 高	43,805	-	41,954	-	95.8
売 上 原 価	32,637	74.5	31,514	75.1	96.6
売 上 総 利 益	11,167	25.5	10,440	24.9	93.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	11,914	27.2	11,975	28.5	100.5
営 業 利 益	1,326	3.0	532	1.3	40.1
営 業 外 収 益	23	0.0	24	0.0	103.1
営 業 外 費 用	25	0.0	19	0.0	74.7
経 常 利 益	1,324	3.0	537	1.3	40.6
当 期 純 利 益	697	1.6	340	0.8	48.7

2022年2月期上期 貸借対照表

自己資本比率：56.2%（前年差 △0.2%）

単位：百万円、%

連 結		2021年2月期上期		2022年2月期上期	
		実 績	構成比	実 績	構成比
流 動 資 産		13,530	26.5	14,125	27.4
	現 金 預 金	7,150	14.0	7,897	15.3
	商 品 製 品	3,928	7.7	3,932	7.6
固 定 資 産		37,509	73.5	37,415	72.6
	有形固定資産	32,179	63.0	32,307	62.7
資 産 合 計		51,040	100.0	51,540	100.0
流 動 負 債		18,210	35.7	18,259	35.4
	支 払 債 務	7,974	15.6	7,918	15.4
固 定 負 債		3,963	7.7	4,327	8.4
純 資 産		28,866	56.6	28,953	56.2
有 利 子 負 債		3,905	7.7	4,574	8.9

2022年2月期上期 貸借対照表

自己資本比率：61.1%（前年差 △1.8%）

単位：百万円、%

単 体		2021年2月期上期		2022年2月期上期	
		実 績	構成比	実 績	構成比
流 動 資 産		8,017	19.0	8,512	19.2
	現 金 預 金	4,661	11.0	5,249	11.8
	商 品 製 品	1,928	4.6	1,976	4.5
固 定 資 産		34,289	81.0	35,873	80.8
	有形固定資産	28,233	66.7	28,867	65.0
資 産 合 計		42,307	100.0	44,366	100.0
流 動 負 債		13,587	32.1	14,669	33.1
	支 払 債 務	5,855	13.8	5,736	12.9
固 定 負 債		2,116	5.0	2,593	5.8
純 資 産		26,602	62.9	27,123	61.1
有 利 子 負 債		1,435	3.4	3,226	7.3

単体：県別売上・店舗数推移

新店 1（宮城県）

		2020年2月期上期			2021年2月期上期			2022年2月期上期		
		出店	退店	店数	出店	退店	店数	出店	退店	店数
山形県	店舗数	0	1	42	1	2	41	1	0	42
	売上高	28,763	前比 99.7		29,940	前比 104.1		29,562	前比 98.7	
宮城県	店舗数	0	0	22	0	2	20	1	2	19
	売上高	12,818	前比 95.0		13,865	前比 108.1		12,391	前比 89.4	
合 計	店舗数	0	1	64	1	4	61	2	2	61
	売上高	41,582	前比 98.2		43,805	前比 105.3		41,954	前比 95.8	

No	社 名	VC	店舗数	食品販売高	シェア	増減
1	ヤマザワ	ニチリウ	42	53,373	24.9	+0.1
2	イオン東北	イオン	31	43,035	20.0	+8.4
3	ヨークベニマル	7&i	22	39,928	18.6	+0.3
4	おーばん	CGC	13	17,463	8.1	+0.4
5	生協（共立社）		10	15,529	7.2	+0.1
6	主婦の店鶴岡	CGC	8	7,245	3.4	△0.3
7	トー屋	CGC	8	5,890	2.7	△0.1
8	うめや	CGC	6	5,246	2.4	△0.1
9	本間物産(株)		7	4,755	2.2	△0.2
10	たかき		4	4,191	2.0	+0.1
	その他		32	18,018	8.5	△2.1
	計		183	214,674	100.0	

人口（人）	1,070,017	-1.1%	食品市場規模	3,606億	2.6%
世帯数	418,707	0.4%	内スーパー-食品販売高	2,147億	5.4%

No	社 名	VC	店舗	食品販売高	シェア	増減
1	ヨークベニマル	7&i	60	95,746	21.2	0.0
2	みやぎ生協		50	86,498	19.2	+1.0
3	イオン東北	イオン	26	34,390	7.6	+0.9
4	(株)ウジエスーパー	CGC	30	33,600	7.4	△0.4
5	マックスバリュ南東北	イオン	19	31,229	6.9	+0.3
6	ヤマザワ	ニチリウ	18	23,576	5.2	△0.2
7	(株)西友	CGC	18	20,930	4.6	△0.9
8	イオンSC	イオン	6	16,380	3.6	△0.2
9	イトーチェーン	CGC	10	13,770	3.1	+0.4
10	フレスコ	CGC	11	13,599	3.0	+0.3
	その他		88	81,577	18.2	△1.2
	計		336	451,296	100.0	

人口（人）	2,282,106	△0.9%	食 品 市 場 規 模	8,606億	0.9%
世 帯 数	1,016,612	1.0%	内スーパー-食品販売高	4,513億	6.0%

秋田県 シェア

No	社 名	VC	店舗	食品販売高	シェア	増減
1	イ オ ン 東 北	イオン	45	53,898	22.9	+6.3
2	伊 徳	CGC	22	43,001	18.3	+0.2
3	タ カ ヤ ナ ギ	CGC	15	22,360	9.5	△0.1
4	イ オ ン S C	イオン	6	17,820	7.6	△0.2
5	ナ イ ス		10	16,613	7.1	+0.2
7	中 央 市 場	AJS	8	10,403	4.4	△0.5
8	よ ね や 商 事		10	9,607	4.1	△0.1
9	コ ー プ あ き た		2	9,280	3.9	+0.1
10	バ ザ ー ル		5	7,315	3.1	△0.1
10	(株) ア マ ノ		3	7,018	3.0	△0.1
	そ の 他		37	37,916	16.1	△2.8
	計		163	235,232	100.0	

人口（人）	971,604	-1.4%	食 品 市 場 規 模	3,480億	7.8%
世 帯 数	425,698	0.0%	内入-パ-食品販売高	2,352億	4.7%

東北 主要 S M 店舗数

ヤマザワ 61



山形 42

宮城 19

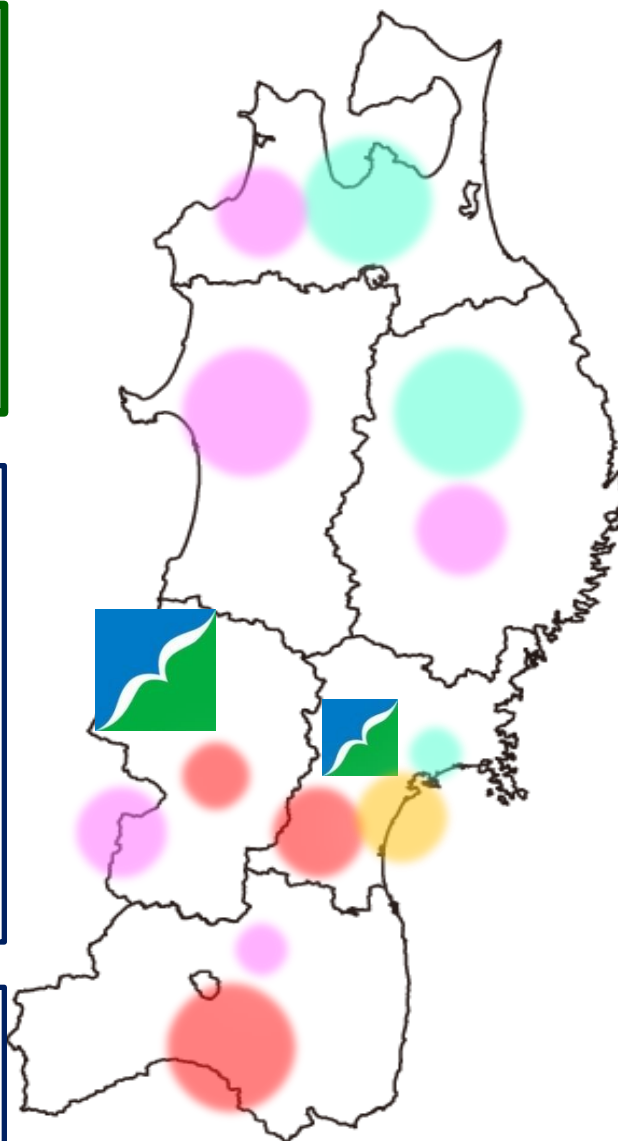
ヨークベニマル 236

山形 22

宮城 60

福島 79

みやぎ生協 50



アークスグループ°

ユニバース 57

青森 37 岩手 19

秋田 1

ベルジョイス 58

岩手 50 青森 1

宮城 7

イトーチェーン 10

イオン系

イオン東北 155

青森 30 岩手 15

秋田 45 宮城 26

山形 31 福島 8